



Cisco C390 E メールセキュリティ アプライアンス クイック スタート ガイド

- 1 ウェルカム
- 2 はじめる前に
- 3 ネットワーク設定の記録
- 4 設置の計画
- 5 ラックへのアプライアンスの取り付け
- 6 アプライアンスへの電源接続
- 7 リモート アクセスのための IP アドレスの一時的な変更
- 8 アプライアンスへの接続
- 9 アプライアンスの電源投入
- 10 アプライアンスへのログイン
- 11 システム セットアップ ウィザードの実行
- 12 Active Directory ウィザードの実行(任意)
- 13 利用可能なアップグレードの確認
- 14 ネットワークの設定
- 15 設定の概要
- 16 その他の設定
- 17 関連資料
- 18 Cisco 通知サービス

1 ウェルカム

Cisco C390 E メール セキュリティ アプライアンス (Cisco C390) をお選びいただき、ありがとうございます。

Cisco C390 アプライアンスは、ネットワーク境界で SMTP 電子メール ゲートウェイとして機能するように設計されています。これは、電子メールを送受信するためにインターネットに直接アクセスできる IP アドレスを割り当てられた最初のアプライアンスです。機能の多く (レピュテーション フィルタリング、データ損失防止、コンテンツ スキャン、スパム検出、およびウイルス保護) で、既存のネットワーク インフラストラクチャに Cisco アプライアンスを設置する必要があります。

このマニュアルでは、Cisco C390 アプライアンスを物理的に設置し、システム セットアップ ウィザードで基本設定を構成する方法について説明します。

2 はじめる前に

設置を開始する前に、必要な品目が揃っていることを確認してください。Cisco C390 E メール セキュリティ アプライアンスには次の品目が含まれています。

- レール キット
- 電源ケーブル (2 本)
- コンソール ケーブル
- ご使用のアプライアンスのオンライン ドキュメントの場所を示すカード

次の品目は各自で用意する必要があります。

- ラック キャビネット 棚 (アプライアンスをラックマウントする場合)
- レールを組み立てるためのプラス ドライバ
- 10/100/1000 Base-TX TCP/IP LAN
- アプライアンスをネットワークに接続するためのイーサネット ケーブル
- デスクトップまたはラップトップ コンピュータ

- Web ブラウザ(または、SSH およびターミナル ソフトウェア)
- 「ネットワーク設定の記録」セクション(3 ページ)に関するネットワークおよび管理者情報、ならびに稼働時の設定

3 ネットワーク設定の記録

作業に取り掛かる前に、ネットワークおよび管理者の設定について次の情報を書き出してください。

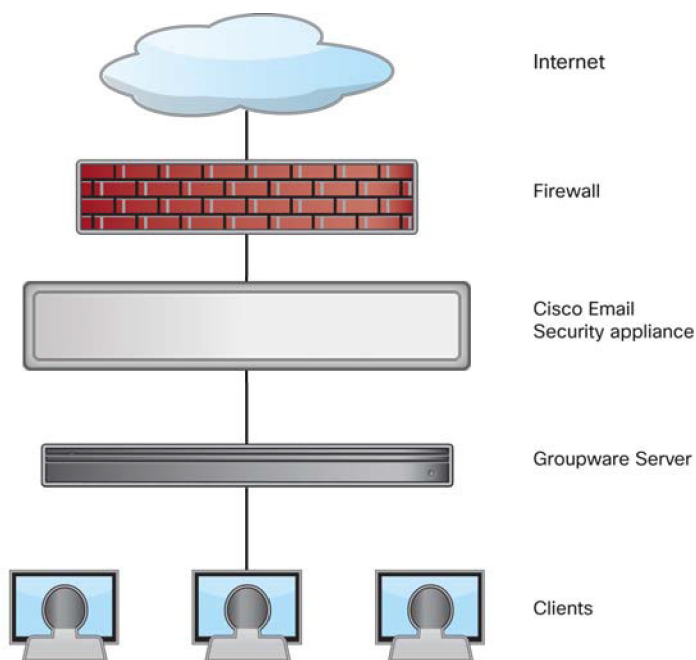
システム設定 (System Settings)	
デフォルトのシステムホスト名 (Default System Hostname) :	
システムアラートメールの送信先 (Email System Alerts To) :	
定期レポートの送信先 (Deliver Scheduled Reports To) :	
タイムゾーン情報 (Time Zone Information) :	
NTP サーバ (NTP Server) :	
管理者パスワード (Admin Password) :	
SenderBase ネットワークに参加 (SenderBase Network Participation) :	有効化/無効化 (Enable/Disable)
オートサポート (AutoSupport) :	有効化/無効化 (Enable/Disable)
ネットワーク インテグレーション (Network Integration)	
デフォルト ゲートウェイ (ルータ) の IP アドレス (Default Gateway (Router) IP Address) :	
DNS (インターネットまたは独自指定) :	
インターフェイス (Interfaces)	
データ ポート 1 (Data Port 1)	
IP アドレス (IP Address) :	
ネットワーク マスク (Network Mask) :	
完全なホスト名 (Fully Qualified Hostname) :	
許可する着信メールのドメイン (Accept Incoming Mail Domain) :	

許可する着信メールの宛先 (Accept Incoming Mail Destination) :	
外部への送信メールを中継 (Relay Outgoing Mail) :	
データ ポート 2 (Data Port 2)	
IP アドレス (IP Address) :	
ネットワークマスク (Network Mask) :	
完全なホスト名 (Fully Qualified Hostname) :	
許可する着信メールのドメイン (Accept Incoming Mail Domain) :	
許可する着信メールの宛先 (Accept Incoming Mail Destination) :	
外部への送信メールを中継 (Relay Outgoing Mail) :	
メッセージセキュリティ (Message Security)	
SenderBaseレピュテーションフィルタ (SenderBase Reputation Filtering) :	有効化/無効化 (Enable/Disable)
Cisco Anti-Spam スキャン エンジン (Cisco Anti-Spam Scanning Engine) :	有効化/無効化 (Enable/Disable)
McAfee Anti-Virus スキャン エンジン (McAfee Anti-Virus Scanning Engine) :	有効化/無効化 (Enable/Disable)
Sophos Anti-Virus スキャン エンジン (Sophos Anti-Virus Scanning Engine) :	有効化/無効化 (Enable/Disable)
ウイルス アウトブレイク フィルタ (Virus Outbreak Filters) :	有効化/無効化 (Enable/Disable)
高度なマルウェア防御 (Advanced Malware Protection) スキャン エンジン (Scanning Engine)	有効化/無効化 (Enable/Disable)

4 設置の計画

スパム、マルウェア、フィッシング、およびその他の脅威から電子メール システムを守るため、Cisco C390 アプライアンスをネットワーク境界に設置する必要があります。これは、インターネットにアクセスできる IP アドレスを割り当てられた最初のアプライアンスであることが必要です。

次のようなネットワーク構成を計画してください。



5 ラックへのアプライアンスの取り付け

提供されるレールを使用して、Cisco C390 E メールセキュリティアプライアンスを取り付けます。ラックにアプライアンスを取り付ける方法については、『*Cisco x90 Series Content Security Appliances Installation and Maintenance Guide*』を参照してください。

ラックへのアプライアンスの配置

- 周囲温度:アプライアンスの過熱を防止するため、周囲温度が 40 °C(104 °F)を超える場所では操作しないでください。
- エアフロー:アプライアンス周辺のエアフローが十分であることを確認してください。
- 機械的加重:危険な状況を避けるため、アプライアンスが水平で安定していることを確認してください。

6 アプライアンスへの電源接続

アプライアンスの背面パネルにある冗長電源に、各ストレート電源ケーブルのメス端子を差し込みます。

オス端子を電気コンセントに差し込みます。

7 リモート アクセスのための IP アドレスの一時的な変更

ネットワーク設定を使用して Cisco C390 をリモート操作で設定するには、コンピュータの IP アドレスを一時的に変更する必要があります。あるいは、IP アドレスを変更せずにシリアルコンソールを使用して Cisco C390 を設定できます。シリアルコンソールを使用する場合は、以下の 8 の項に進みます。



(注) 設定が完了したら元に戻す必要があるため、現在の IP 設定を書き留めておきます。

Windows の場合

正確な手順は、ご使用のオペレーティング システムのバージョンによって異なります。

-
- ステップ 1** [スタート (Start)] メニューに移動し、[コントロール パネル (Control Panel)] を選択します。
- ステップ 2** [ネットワークとインターネット (Network and Internet)] をクリックし、次に [ネットワークと共有センター (Network and Sharing Center)] をクリックします。
- ステップ 3** [アダプターの設定の変更 (Change adapter settings)] リンクをクリックします。
- ステップ 4** [ローカルエリア接続 (Local Area Connection)] を右クリックして、[プロパティ (Properties)] を選択します。
- ステップ 5** [インターネット プロトコル バージョン 4 (Internet Protocol Version 4)] をクリックし、[プロパティ (Properties)] を選択します。
- ステップ 6** 現在の設定をメモします。
- ステップ 7** [次の IP アドレスを使う (Use the Following IP Address)] を選択します。
- ステップ 8** 次の変更を入力します。
- IP アドレス: **192.168.42.43**
 - サブネット マスク: **255.255.255.0**
 - デフォルト ゲートウェイ: **192.168.42.1**
- ステップ 9** [OK] と [閉じる (Close)] をクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。
-

Mac の場合

正確な手順は、ご使用のオペレーティング システムのバージョンによって異なります。

-
- ステップ 1** Apple メニューを起動し、[システム環境設定 (System Preferences)] を選択します。
 - ステップ 2** [ネットワーク (Network)] をクリックします。
 - ステップ 3** 錠のアイコンをクリックして変更を許可します。
 - ステップ 4** 緑色のアイコンがあるネットワーク設定を選択します。これが、アクティブな接続です。次に、[詳細 (Advanced)] をクリックします。
 - ステップ 5** [TCP/IP] タブをクリックし、イーサネット設定のドロップダウン リストから [手動 (Manually)] を選択します。
 - ステップ 6** 次の変更を入力します。
 - IP アドレス: **192.168.42.43**
 - サブネット マスク: **255.255.255.0**
 - ルータ: **192.168.42.1**
 - ステップ 7** [OK] をクリックします。
-

8 アプライアンスへの接続

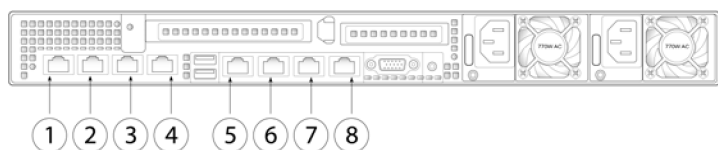
Cisco C390 アプライアンスには、次のページの図に示されているように 5 つのギガビット ネットワーク ポートと管理ポートがあります。電子メールを送受信するには、少なくとも 1 つのスタティック IP アドレスが必要です。

ネットワーク トポロジで規定されている場合には、1 つの接続からいずれかのネットワーク ポートに電子メールを送受信できます。1 つのネットワーク インターフェイスに 2 つの IP アドレスを設定できます。

または、データ 1 ネットワーク ポートをパブリック ネットワークに接続し、データ 2 ネットワーク ポートをプライベート ネットワークに接続できます。

イーサネット経由でアプライアンスにアクセスし管理するには、管理ネットワークポートを使用します。工場出荷時に管理ポートに割り当てられている IPv4 アドレスは 192.168.42.42 です。

アプライアンスのコンソールポートへのシリアルアクセスについては、アクセサリキットに同梱の RJ-45 to DB-9 ロールオーバーケーブルを使用して、コンピュータをアプライアンスのコンソールポートに接続します。



項目	ポート	説明
1	データ 1	ギガビット イーサネット顧客データ インターフェイス。
2	データ 2	ギガビット イーサネット顧客データ インターフェイス。
3	データ 3	ギガビット イーサネット顧客データ インターフェイス。
4	データ 4	ギガビット イーサネット顧客データ インターフェイス。
5	リモートからの電源の再投入	このポートはリモートからの電源の再投入 (RPC) に使用されます。
6	コンソール	アプライアンスに直接コンピュータを接続するコンソールポート。
7	データ 5	ギガビット イーサネット顧客データ インターフェイス。
8	管理インターフェイス	管理使用に限定される、ギガビットイーサネット インターフェイス。

9 アプライアンスの電源投入

Cisco C390 の前面パネルの電源スイッチを押して、アプライアンスの電源を投入します。システムの電源を投入するたびに、システムが初期化するまで 10 分待機する必要があります。アプライアンスの電源が投入されると、アプライアンス前面にある緑色のライトが点灯して、アプライアンスが動作可能であることを示します。ネットワーク アクティビティ ライトが緑色であるが安定して点灯しないことがあります。



(注)

アプライアンスに電源を接続した直後に電源を投入すると、アプライアンスの電源がオンになり、ファンが回転し LED がオンになります。30 ~ 60 秒以内にファンが停止し、すべての LED がオフになります。31 秒後にアプライアンスの電源がオンになります。この動作は、システム ファームウェアとコントローラが同期できるようにするための設計によるものです。

システムの電源投入が完了し LED が緑色に点灯するまで、少なくとも 10 分間待機してください。初期化の完了前に電源をオフにしまうと、その後アプライアンスが動作状態になることはなく、そのアプライアンスはシスコに返却する必要があります。

10 アプライアンスへのログイン

Web ベース インターフェイスまたはコマンドライン インターフェイスのいずれかを使用して、Cisco C390 アプライアンスにログインできます。

Web ベースのインターフェイス

ステップ 1 イーサネット ポートを介した Web ブラウザ アクセスについては、「[「アプライアンスへの接続」セクション\(8 ページ\)](#)を参照)、Web ブラウザで次の URL を入力して、アプライアンスの管理インターフェイスに移動します。

`http://192.168.42.42`

ステップ 2 次のクレデンシャルでログインします。

- ユーザ名: `admin`
- パスワード: `ironport`

コマンドライン インターフェイス

ステップ 1 コマンドライン インターフェイス (CLI) にローカルまたはリモートでアクセスします。

- CLI にローカルでアクセスするには、9600 ビット、8 ビット、パリティなし、1 ストップ ビット (9600, 8, N, 1) で端末がシリアルポートに接続するように設定し、フロー制御を Hardware に設定します。端末を物理的に接続するには、「[「アプライアンスへの接続」セクション\(8 ページ\)](#)を参照してください。
- CLI にリモートでアクセスするには、IP アドレス `192.168.42.42` との SSH セッションを開始します。

ステップ 2 パスワード `ironport` を使用して `admin` としてログインします。

ステップ 3 プロンプトで、`systemsetup` コマンドを実行します。

11 システム セットアップ ウィザードの実行

システム セットアップ ウィザードは、Web ベース インターフェイスを介してアプライアンスにアクセスすると（または、コマンドライン インターフェイスで `systemsetup` コマンドを実行すると）、自動的に開始されます。

-
- ステップ 1** システム セットアップ ウィザードを起動します。
 - ステップ 2** エンド ユーザ ライセンス契約書に同意します。
 - ステップ 3** 「ネットワーク設定の記録」セクション(3 ページ)からの情報を入力します。
 - ステップ 4** アンチスパムおよびアンチウイルスを設定します。
 - ステップ 5** 設定サマリー ページを確認します。
 - ステップ 6** [この設定をインストール (Install This Configuration)] をクリックします。
アプライアンスが設定を受け入れていないかまたはインストールが行われていないように見えることがあります。これは、IP アドレスを変更したものの、インストールがまだ途中であるためです。
 - ステップ 7** 「リモート アクセスのための IP アドレスの一時的な変更」セクション(6 ページ)の説明にしたがってコンピュータの IP アドレスを一時的に変更した場合は、IP アドレスを元の値に戻します。
 - ステップ 8** ラップトップとアプライアンスがネットワークに接続していることを確認します。
 - ステップ 9** ユーザ名 `admin` と、システム セットアップ ウィザードで新たに設定したパスワードを使用して、アプライアンスにログインしなします。
Cisco C390 E メール セキュリティ アプライアンスでは自己署名証明書が使用されるため、Web ブラウザから警告が出る可能性があります。証明書を受け入れるだけで、この警告は無視できます。
 - ステップ 10** 新しい管理者パスワードを書き留め、安全な場所に保管します。
-

12 Active Directory ウィザードの実行(任意)

Web インターフェイスでシステム セットアップ ウィザードを実行した後は、Active Directory ウィザードが表示されます。ネットワークで Active Directory サーバを稼働している場合は、Active Directory ウィザードを使用して、Active Directory サーバ用の LDAP サーバプロファイルを設定します。

Active Directory を使用していないか、後で設定する場合は、[このステップをスキップ(Skip this Step)] をクリックします。[システム管理(System Administration)] > [LDAP] に移動することにより、Active Directory ウィザードを後で実行できます。[Active Directory ウィザードを使用します(using Active Directory Wizard)] チェックボックスをオンにして、[LDAP サーバプロファイルを追加(Add LDAP Server Profile)] をクリックします。



(注) Active Directory ウィザードを実行するには、Active Directory アカウントのホスト名とログイン情報が必要です。



(注) [変更を確定(Commit Changes)] をクリックして、GUI で加えた変更をコミットします。このボタンは、保存する必要がある、確定されていない変更がある場合に表示されます。

Commit Changes »

303359

13 利用可能なアップグレードの確認

アプライアンスにログインした後で、Web ブラウザ ウィンドウの上部でアップグレード通知(またはコマンドライン インターフェイスで通知)があるかどうかを確認してください。アップグレードが適用可能な場合は、アップグレードをインストールする必要があるかどうかを検討します。

各リリースの詳細情報は、Async OS バージョンのリリースノートに記載されています。

14 ネットワークの設定

ネットワークの設定によっては、次のポートを使用したアクセスを許可するように、ファイアウォールを設定することが必要になる場合があります。SMTP サービスおよび DNS サービスでは、インターネットにアクセスできる必要があります。

- DNS: ポート 53
- SMTP: ポート 25

他のシステム機能では、次のサービスが必要な場合があります。

- FTP: ポート 21、データ ポート TCP 1024 以上
- HTTP: ポート 80
- HTTPS: ポート 443
- LDAP: ポート 389 または 3268
- LDAP over SSL: ポート 636
- グローバル カタログ クエリー用の SSL を使用した LDAP: ポート 3269
- NTP: ポート 123
- SSH: ポート 22
- Telnet: ポート 23



(注) ポート 80 およびポート 443 を開かないと、機能キーをダウンロードできません。

詳細については、Cisco E メール セキュリティ アプライアンスのご使用の AsyncOS バージョンに関するユーザ ガイドでファイアウォール情報を参照してください。

15 設定の概要

項目	説明
管理 (Management)	<p>http://192.168.42.42 を入力するか、システムのセットアップ時にアプライアンスに割り当てられるホスト名を使用して、管理ポート (データ ポート 1) から電子メール セキュリティ アプライアンスを管理できます。</p> <p>また、管理インターフェイスでファイアウォール ポート 80 および 443 を開いていることを確認します。</p>
着信電子メール (Incoming Email)	<p>システム セットアップ ウィザードの実行後は、データ ポート 2 のポートが着信電子メールを受け入れるように設定されます。</p>
発信電子メール (Outbound Email)	<p>システム セットアップ ウィザードで発信電子メールを中継するようにアプライアンスを設定しておらず、そのように設定したい場合は、Cisco E メール セキュリティ アプライアンスのご使用の AsyncOS バージョンに関するユーザ ガイドを参照してください。</p>

16 その他の設定

おめでとうございます！ インストールと基本的な設定が完了しました。アプライアンスのその他の機能が設定できるようになりました。詳細については、ご使用のリリースの AsyncOS のオンライン ヘルプまたはユーザ ガイドを参照してください。

メッセージ トラッキング

メッセージ トラッキング サービスを(GUI で)使用してクエリーを実行することにより、メッセージの送信とブロックングに関する詳細を表示できます。メッセージ トラッキングにアクセスするには、[モニタ (Monitor)] > [メッセージ トラッキング (Message Tracking)] を選択します。

レポート

電子メールセキュリティ モニタで使用できるレポートを(GUI で)表示することにより、ネットワーク上のスパムおよびウイルス ブロックングに関する統計情報を確認できます。レポートの概要ページにアクセスするには、[モニタ (Monitor)] > [概要 (Overview)] を選択します。

詳細については、ご使用のアプライアンスのオンライン ヘルプ またはご使用の AsyncOS バージョンのユーザ ガイドを参照してください。



注意

キューおよびコンフィギュレーション ファイルの破損を防止するため、[システム管理 (System Administration)] > [シャットダウン/再起動 (Shutdown/Reboot)] ページからアプライアンスをシャットダウンする必要があります。

17 関連資料

製品に関する資料	
Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンスのマニュアル	http://www.cisco.com/c/en/us/support/security/email-security-appliance/tsd-products-support-series-home.html
<p>このページのリンク先には、リリース ノート、ユーザ ガイド、および次に示すようなハードウェアとその設置に関する情報があります。</p> <ul style="list-style-type: none">• Cisco C390 E メール セキュリティ アプライアンス クリック スタート ガイド(本マニュアル)• Cisco x90 Series Content Security Appliances Installation and Maintenance Guide(LED に関する技術仕様と情報が含まれます)• 安全性およびコンプライアンスに関する情報	
サポート	
シスコ サポート	http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html
Cisco E メール セキュリティ サポート コミュニティ	https://supportforums.cisco.com/community/5756/email-security

18 Cisco 通知サービス

セキュリティ アドバイザリ、フィールド ノーティス、販売終了とサポート終了の通知、およびソフトウェア アップデートと既知の問題に関する情報などの Cisco コンテンツ セキュリティ アプライアンスに関連する通知が配信されるように署名して参加します。

受信する情報通知の頻度やタイプなどのオプションを指定できます。使用する製品ごとの通知に個別に参加する必要があります。

参加するには、

<http://www.cisco.com/cisco/support/notifications.html> に移動します。

Cisco.com アカウントが必要です。Cisco.com ID をお持ちでない場合は、<https://tools.cisco.com/RPF/register/register.do> [英語] で登録を行ってください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)
この資料の記載内容は 2016 年 12 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先

